

# 「PUBNAVI」利用料金など発表

## メディアドゥ・光和コンピューター

メディアドゥと光和コンピューターは10月27日、東京・千代田区のパレスサイドビルにあるメディアドゥのセミナースペースで、電子書籍の売上・印税管理などを行うシステム「PUBNAVI」の出版社向け製品発表会を開き利用料金などを発表。また、「PUBNAVI」の公式サイトをオープンした。

「PUBNAVI」は電子書 出版社への年間入金額によって 籍の売上管理と紙書籍・電子書 月額費用を設定。直近1年間で 籍の印税管理のサービスをクラ 入金額が1000万円未満は月 ウドで提供するサービス。両社 額1万8000円、1000万 が提携して開発し、11月中旬か 円から3000万円未満は同5 らペータ版の提供を開始。来年 万円、3000万円から1億円 春に電子書籍管理、来年夏には 未満は同10万円、1億円から3 紙書籍管理の正式版をリリース 億円未満は同15万円、3億円か る10億円未満は同20万円、10億 する。

この日発表した電子書籍管理 の料金体系は、初期登録料5万 円以上は問い合わせとなる(い ずれも税別)。

円のほか、電子書店などからの 導入までの流れは、まず30日 月1.5倍伸び、売り上げが

間の「無料お試し版」を利用 し、見積もり依頼フォームに 年間入金額などを入力すると 見積額が提示される。契約期 間は半年か1年間。また、マ スタ整備など導入サポートも 有料で提供する。

説明会は会場とオンライン で開催し計326人が申し込 んだ。メディアドゥの榎原輝 雄氏の司会で、同社の取締役 副社長COO・新名新氏が電 子書籍市場が10年間で5倍に 伸びていることを報告し、「文 字ものも5年間で1.8倍と なるなどここに来て伸び始め ている。グループの日本文芸 社でも実用書の電子書籍が毎

## 出版社向け説明会に326人申し込み

プラスに転じている。電子書 籍の役割は大きい。5年、 10年後を考えると売り上げ、 印税管理という新たな課題が ある。出版社が安心してデジ タルコンテンツを出し続けら れるよう、ソリューションを 提供する」と「PUBNAVI」 の意義を説明した。

続いて、光和コンピューター 2日間かけて作成していた12 00件の印税通知をポタン1つ で作成できるようにすると報告 した。

川畑氏も「設定すれば印 税計算の作業が2分の1か ら3分の1に削減できそ う。外部委託している売り 上げ分析も内製化できそ う」と述べた。質疑応 答では予定時間を超える多 くの質問が寄せられた。



会場とオンラインで実施した説明会

橋本氏は電子書籍の印 税集計の業務が「エクセルを使って毎月3日くら い作業しており限界に近づいている」と述べ、「PUBNAVI」を利用す ると2時間かかっていた データ取り込みが30分、 ジネスアプリとしてコンテ ンツ業界のインフラに進化 させたい」と述べた。